

## 刊行にあたって

本書は、平成8年度に筑豊市町村教育委員会連絡協議会が発行した『生涯学習関連事業調査報告書』の続編として、平成28年度までの筑豊地区の埋蔵文化財発掘調査記録を網羅した手引書です。本年度は、平成25年に刊行した嘉穂地域編に続き、田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町のある田川地域編を発刊いたします。

今日、筑豊地区の文化財調査研究の成果発表の場として定着した、「掘ったバイ筑豊」は平成6年度に命名されたもので、そのはじまりは、昭和59年度から行なわれた「文化財指導者講習会」ならびに「遺跡発掘調査速報展」でした。当時、発掘調査の成果と地域の歴史研究は遊離した状況で、発掘調査自体への理解を得るのも困難な状況でした。そこで、地域の研究者や一般の方々いち早く調査の成果を公表し、地域とのつながりを模索しはじめることとなったのです。

開始から30年を経過した今日、「掘ったバイ筑豊」の主催は福岡県教育委員会から筑豊教育事務所管内の市町村へと移行し、筑豊文化財行政連絡協議会の結成に至りました。また、埋蔵文化財一辺倒だった内容は、民俗・天然記念物・古文書・近代化遺産等と文化財全般に及ぶようになり、公表の方法も個別発表から講演やシンポジウムへと移行し、多様化しつつあります。その発展と広がり、実に喜ばしいことであります。

しかし一方で、広範な発展は、時として進むべき方向を見失ってしまう場合があります。つまり、足元が見えず地に着いた研究のさまたげとなってしまう恐れが生じます。そのような時、私たちは原点にかえてみる必要があります。「掘ったバイ筑豊」の根幹は、地域とのつながりを深め、地域の歴史研究に真摯に取り組むことと考えます。

今回、市町村の文化財担当者が集い本書の発刊に携わることで、担当者それぞれが原点に立ちかえり今後の方向を見極める出発点としていただきたいと存じます。また、本書を活用される方々におかれましては、筑豊地区の埋蔵文化財の現状を把握していただき、地域を知る上での材料となれば幸いと存じます。

最後に、みなさまにおかれましては、今後とも筑豊文化財行政連絡協議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月31日

筑豊文化財行政連絡協議会

## 例 言

- 1 本書は、田川地域（田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町）内で平成28年度までに実施された遺跡発掘調査の記録集である。
- 2 「Ⅰ 田川地域の考古学」は、田川地域の旧石器から近代までの主な遺跡を概観したもので、各項の執筆は、以下のとおりである。  
 【旧石器・縄文時代】松浦幸一（赤村役場）、【弥生・古墳時代】江上正高（田川市教育委員会）、【古代】井上勇也（福智町教育委員会）、【中世】野村憲一（香春町教育委員会）、【近世】志満紀郎（大任町教育委員会）、【近代】福本寛（田川市教育委員会）
- 3 「Ⅱ 遺跡調査リスト」は、平成28年度までに発掘調査された田川地域内の遺跡データベースである。行政の調査記録を主とするが、学史上重要な遺跡等も、各自治体担当者の判断のもとに掲載した。

なお、表の各欄については、下記の項目について記載している。

通し番号	ふりがな	調査年度
市町村番号	遺跡名	調査機関
遺跡の所在地		資料の展示保管先
主な出土遺構		主な出土遺物
遺跡の概要		
発掘調査報告書、その他参考文献		

- 4 「Ⅲ 史跡整備リスト」は、指定文化財等の整備された史跡跡（公園）、「Ⅳ 博物館・資料館リスト」は埋蔵文化財等が展示されている施設を掲載した。
- 5 データ作成など各自治体担当者の協力を得て、本書の編集は福本寛が担当した。

## 目 次

Ⅰ	田川地域の考古学	1
Ⅱ	遺跡調査リスト	27
	田川市	28
	香春町	33
	添田町	37
	糸田町	40
	川崎町	41
	大任町	47
	赤 村	50
	福智町（旧赤池町・方城町・金田町）	56
Ⅲ	史跡整備リスト	63
Ⅳ	博物館・資料館リスト	73